



地域日本語教育の“あるある”シミュレーションゲーム

ANADO ~あなたならどうする?~

アナドゥー

オンライン版お試し交流会

日時

令和3年7月13日（火）14:00-16:00

対象

文化庁補助事業担当者、地域日本語教育コーディネーター、
総括コーディネーター、行政職員・地域日本語教育実践者など
※日本語教師の資格・経歴や職種・立場は問いません

方法

ZOOMによるオンライン形式

右のURL/QRコードからお申込みください <https://forms.gle/NM7aeCYmxFmXoaRN8>

※定員を上回るお申し込みがあった場合には、締切日までにお申し込みいただいた方を対象に、改めて別の日時に開催する予定です。

定員
20名

無料

OK

7/1
締切



内容

①ANADO作成～こぼればなし～

神吉 宇一（武蔵野大学・ANADO作成協力）

小野 美穂（2010～2016年度 北九州国際交流協会日本語コーディネーター）

矢野 花織（北九州国際交流協会 総括コーディネーター）

②ANADOお試し交流会

ブレイクアウトルームに分かれて少人数で行います。北九州国際交流協会職員を含む参加者同士でANADOを楽しんだり、悩みを共有したり、ざっくばらんに情報交換をしましょう

申込
問合せ

公益財団法人 北九州国際交流協会（日本語チーム）

電話：093-643-5931 E-mail: k.yano@kitaq-koryu.jp

住所：北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3 COM CITY 3F



「アナドゥ ANADO」って？

地域日本語教育の現場で起こりうる困難や葛藤などについて、他のプレイヤーと意見交換をしながら、課題解決のプロセスを体験することを目的としたシミュレーションゲームです。

北九州の地域日本語教育コーディネーターらが自分たちの周りの悩みや、全国各地の仲間たちから集めた“あるある！”という共通の課題をもとに、楽しい研修ができないかと試行錯誤を重ねてつくりました。

すべてのカードは、「あな(ANA)たなら、どう(DO)しますか？」という2択になっているので、「ANADO」という名前をつけました。

例

あなたは 県の職員

4

県の地域支援課で働いているあなた。県内に外国人就労者が急増した地域があり、日本語教室をつくりたいという地域住民の支援をすることになりました。しかし、住民から「ボランティアの交通費くらいは県が負担するべきだ」と言われて悩んでしまいました。



今年はボランティアの交通費を払うだけの予算がありますが、来年度の予算は未定です。そのうえ、県内のほかの地域では、ボランティア教室はすべて自己負担で活動をしているので、この教室のボランティアだけに交通費を払うのは平等ではない気がします。

あなたなら どうしますか？

A

交通費は払わない

B

とりあえず
今年度だけは
交通費を払う

北九州外国人労働者支援協会 ©2014-2021 KITAKYUSHU INTERNATIONAL ASSOCIATION All Rights Reserved

あなたならどうしますか？

そのほかにも・・・

あなたは
コーディネーター

あなたは
ボランティア

あなたは
学習者の家族

あなたは
外国人学習者

あなたは
教室代表者

あなたは
市の職員

など